



南山大学アジア・太平洋研究センター主催研究会

「技能集約型産業における国際的な事業 展開と再編－日本、中国、東南アジア諸国での 実態調査に基づく試論－」

報告者：行本 勢基 (高松大学経営学部専任講師)

近年、電機や自動車をはじめとする日系組立メーカーのアジア進出が拡大する中で、中国やタイなどの東アジア各国では、現地の技能育成や裾野産業の発展に重要な役わりを果たす“金型産業”において、その急速な成長がみられます。

この報告では、東アジア各国での現地実態調査の分析結果をふまえ、(1)各国の金型産業が発展する上で、従来、日系の組立メーカーや部品・金型メーカーはどのような役わりを果たしてきたのか、(2)現地系の金型メーカーが着実に成長しつつある中で、今後、組立メーカーと関連メーカーとの関わり方、とりわけ日系メーカーと現地系メーカーとの協力関係や競合関係には、どのような変化が予想されるのか、等の疑問に注目します。

これらの疑問をさぐりながら、アジアの急成長の背景にあるダイナミックなプロセスの検討を試みます。

日時：2010年4月23日(金)17:00-19:00

場所：南山大学名古屋キャンパス N棟3階
社会倫理研究所 会議室

お問い合わせ

連絡先：南山大学アジア・太平洋研究センター

住所：〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

電話：052-832-3111(内線3428・3429)

E-mail: cfes-cfas-all@nanzan-u.ac.jp